



Q 心の相談事業の充実は A 個々のケースを大切に



佐藤 澄子 議員
(春緑クラブ)

- ① 児童家庭相談員配置事業
- ② スクールカウンセラー設置事業
- スクールソーシャルワーカー配置事業
- 不登校児童生徒解消事業

Q1 子どもが健やかに安心して暮らしていくための基盤は「家庭」にあるとは言え、家庭だけでは解決できない問題も多く、特に表面に出にくい「心の問題」は奥が深く、社会全体で捉えていかなければならない大きな課題です。身体が健康でも心が健康でなければ、本当の意味での健康は得られないのではないかと感じます。そこで、本村における相談事業は個々のニーズに合わせた十分な支援が行われることが大切と捉えます。



▲みんなが笑顔であるために

A1 ① 児童家庭相談員配置事業は件数の増減のみならず、個別ケースごとの対応や支援の状況、予防活動や早期発見・早期対応のための普及啓発活動の推進といった複数の視点からの評価が必要と考えています。

② 各事業等が持っている機能を効果的に発揮させるために、教育委員会に新たに学校適応指導員を配置し、各学校の教育相談担

A2 相談内容が、個人や家庭、生活環境などさまざまな問題が、複雑に絡み合っているケースが多いことから、連携による対応が有効であると認識しており、今後、更に連携強化に努めていきます。

Q2 相談事業はさまざまな問題をかかえており、その解決にむけて、各機関が一体となり、取り組んでいくことが大切と捉えます。そこで、教育、福祉、医療等の連携は十分に図られているかどうか伺います。

当者や関係機関、保護者等をコーディネートする役割を果たすとともに、各種相談員が配置されていない学校への支援に直接関わる体制を構築して推進しています。



Q 学校図書館の充足率は A 計画的な整備に努める



▲鶴岡小学校図書館

Q1 学校図書館についてお尋ねします。

① 蔵書数が「学校図書館図書標準」を満たさず、国の基準を下回っている学校が多いことが文部科学省の調査で明らかになったが、本村の実態はどうか。

A1 ① 図書の充足率は、小学校88%、中学校87%と年々向上しております。また、予算的にも、近年大幅に増加しており、整備促進が図られました。

② 国は、19年度普通交付税に学校図書費及び教材費4,857万円を基準財政需要額に算入し交付しておりますが、本村の決算額2,870万円と比較すると、1,987万円の差が生じます。しかし、普通交付税は一般財源として交付されていることから、他の予算に流用してないと考えております。

③ 司書教諭と言うより、学校から蔵書の増加に伴い書架の増設を希望されたことから、従来他校



佐々木 剛 議員 (新志会)

② 交付された図書購入費や教材費を他に流用する自治体が多いとされるが、本村の実態はどうか。

③ 司書教諭から、図書館の環境や運営に関しての要望はないか。

で使用していた書架を必要な学校に配置しました。また、図書館のスペースが狭い学校もありましたので、多目的スペースに図書を配置しました。

Q2 呼吸機能に障害のある患者が、血中の酸素を計る機器として酸素測定器があります。自己管理に必要で医師も推薦しておりますが、高価で買えない患者が多いとされます。購入に対する助成の考えを伺います。

A2 日常生活用具給付事業は、障害者自立支援法の地域生活支援事業に移行され、助成対象品目については市町村で決められるようになったことから、本年5月から助成対象品目として取り扱っております。